

タイトル	伊豆の国市郷土資料館企画展「韮山譚索「ハナシ」で辿る記憶と記録」 の開催について
担当課	教育部 文化財課 担当：岩崎 (電話：055-948-1428 内線：2561)

1 開催の目的

國學院大學説話研究会が、市内韮山地区を中心に聞き取りした、体験談や伝承などについて、市民に周知し、先人たちが紡いできた暮らしや思いを伝えるため、企画展示を開催する。

2 開催要領

日 時：令和7年2月1日（土）～令和7年4月27日（日）

9時00分～16時30分

休館日：毎週月曜日、月の最終金曜日

場 所：伊豆の国市郷土資料館

伊豆の国市三福253-1 中央図書館2階

入場料：無料

問合せ：伊豆の国市郷土資料館 電話：0558-76-5678

文化財課 電話：055-948-1428

3 概要

國學院大學説話研究会は、創設70年を超える学生サークルです。日本各地の伝承の記録を試みており、2023年から2024年にかけて、韮山地区を中心に聞き取り調査を実施してきました。本企画展では、狩野川台風やかつての生活の記憶、当地に眠る伝説など、市内の皆様に聞いた様々な「ハナシ」の一部を、パネルや写真で紹介します。

企画展

葦山譚索

たんさく

「ハナシ」で辿る
記憶と記録



災害の記憶

源頼朝伝説

ふしぎな体験

2025
2.1 (土)
—
4.27 (日)

静岡県伊豆の国市三福253-1
中央図書館2階

伊豆の国市郷土資料館

(TEL 0558-76-5678)

開館時間 9:00～16:30

入館料 無料

休館日 毎週月曜日

毎月の最終金曜日

その他中央図書館に準じる

協力：國學院大學説話研究会

○企画展 “^{たんさく}韮山譚索——『ハナシ』で辿る記憶と記録——” 概要

^{こくがくいんだいがく} 國學院大學 ^{せつわけんきゅうかい} 説話研究会は、2023 年から 2024 年にかけて、三度に渡って、伊豆の国市韮山地区を中心とした”^{さいほう}採訪”(現地を訪問し、その土地の伝承を記録すること)を重ねてまいりました。

今回展示するのは、採訪を通し伊豆の国市の皆さまからお聞きした貴重なお話の数々です。

痛ましい狩野川台風の記憶から、かつての生活の記憶、当地に眠る伝説から不思議な体験談に至るまで——。

過去を知り災害からいのちを守るため、先人たちが紡いできた暮らしや思いを忘れないため、伊豆の国市の皆さまからお聞きした様々な”ハナシ”をピックアップし、パネルや写真を通して紹介いたします。

○^{こくがくいんだいがく} 國學院大學 ^{せつわけんきゅうかい} 説話研究会からのご挨拶

私たち、國學院大學 説話研究会は、昨年度で創立 70 周年を迎えた学生サークルです。

当サークルは長年、学生たちを主体とした”採訪”によって日本各地の伝承の記録を試みてきたほか、機関誌『^{ものがたり}譚』の発行にも取り組んできました。

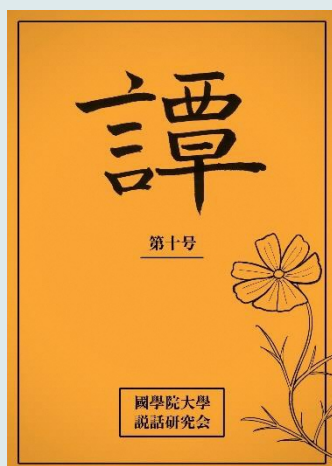
今回、私たちは自然と歴史豊かな伊豆の国市を訪ね、市民の皆さまより実に様々なお話をお聞きしました。更に、お聞きしたお話の数々を、伊豆の国市郷土資料館にて展示するという機会をいただきました。

この度の採訪及び本展示に際しては、多くの方々のご協力を賜っております。

伊豆の国市役所文化財課、ならびに伊豆の国市郷土資料館の職員の皆さま、そして取材に応じていただいた皆さまに対し、この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

説話研究会の活動にご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

(説話研究会 会員一同)



◀令和 5 年度、説話研究会が
発行した機関誌
『譚(ものがたり)』

國學院大學 説話研究会

〒150-8440

東京都渋谷区東 4-10-28

國學院大學 若木タワー11 階

文学部日本文学科 1107 研究室(伊藤龍平)

TEL 03-5466-0224